

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS GD

当社で実際に機械をご導入いただいたお客様の
「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画推進課

岐阜県先端科学技術体験センター サイエンスワールド 様

岐阜県先端科学技術体験センター サイエンスワールド 広報ご担当の日比野様に、2021年6月に導入されたORPHIS GD7330についてお話を伺いました。

この印刷環境だからこそ必要なもの

当センターでは、子どもから大人まで楽しみながら科学を体験できる工作ブース「わくわくワークショップ」を常時開催しています。わくわくワークショップは当館メインコンテンツであり、当館で行う印刷のほとんどがワークショップで使うものが多いです。特に、子どもたちが簡単にハサミで切ることができるようなハガキ程度の厚さの用紙に、300~400枚の材料の印刷を行うことも多くあります。当センターの施設規模は大きいものの、保管スペースの確保が難しいためワークショップで使う材料は都度印刷を行っています。印刷に時間がかかるため用意できる材料に限りがあり、参加者のための様々なワークショップの企画があるものの、準備が困難であるという課題から開催するプログラム数を増やせずにいました。施設を利用させていただく度に、新たな驚き・発見をワークショップで体験していただきたいという想いがセンター内でも強くなり、プログラム拡充を行う上で印刷スピードは必須条件であったので、当時世界最速プリンターとして紹介頂いたORPHISを検討し、導入することになりました。

ORPHISの圧倒的な印刷スピードにより、ワークショップで都度必要な印刷物の作成速度が各段に向上し、印刷の対応も非常に楽になりましたね。印刷物が足りない時に急ぎで追加印刷をしなければならなくなった場合でも、ORPHISのスピードがあれば全く苦にはなりません。ORPHISの導入により、現在はワークショップのプログラム数を120まで増やすことが出来ています。都度印刷の高速化により現場で柔軟な対応が出来るようになったことで、プログラム数が導入前から大幅に増え、当センターが目指す科学の楽しさを色んな方に体験していただけるようになったことは大変嬉しく思います。

5色のインクが持つ魅力

わくわくワークショップで使う印刷物の他に、総会や外部委員会などの資料印刷があります。ORPHISの導入によりカラーが身近になったことで、実験やイベントなどのカラー写真を資料に挿入して印刷をしています。現在のORPHISは3代目で、これまでHC→X→GDと使用してきました。現在使っているGDのインクは、シアン・マゼンタ・イエロー・ブラックの4色に、中間色の再現性を高めるグレーインクが搭載されたことよって5色に増えました。風景写真の陰影と立体感が従来機よりも再現できるようになったので、資料の見栄えがかなり良くなりました。



カラーの活用で、想いがより伝わる印刷物を作成できます！

ORPHISの様々な使い道

チラシや封筒などは外注印刷で対応していましたが、ORPHISは様々な用紙への印刷が可能なので、今後はセンターの特色を出した封筒印刷にチャレンジしていきたいですね。在庫スペースの問題からチラシをセンターに大量に保管しておくことができないため、チラシが無くなった際の増刷用としてもORPHISを活用したいと思っています。

これまで、新年度に各学校に配布するセンターの案内パンフレットの印刷を外部に依頼していました。今回からの新たな試みとして、ORPHISで内製化した簡易版チラシの送付を年度末に実施しました。これからも、ORPHISをフルに活用しながら、地域貢献に繋がる施設運営を行っていければと考えています。

営業担当者の声

この度は、ORPHIS GD 7330をご導入頂きありがとうございます。今回新たに導入されたORPHIS GD7330のメリットは、圧倒的な印刷スピードと色彩表現の向上です。印刷時間の大幅削減で、働く環境を変化させ業務効率化を図ります。また色彩表現が向上されたことにより、印刷物に込められた想いが来場されるお客様にも伝わること心から願っています。



担当営業：若森 智哉